

各種団体アンケートの調査結果について

目次

| | |
|--|---|
| 1. 実施概要 | 1 |
| (1) 実施概要 | 1 |
| (2) 設問項目 | 2 |
| 2. 結果概要 | 5 |
| (1) 各団体が考える地域公共交通利用の課題 | 5 |
| (2) 各団体が地域公共交通に求めること | 6 |
| (3) 各団体が行政や交通事業者に期待すること | 7 |
| (4) 公共交通の維持・活性化のために、各団体が実施している取組や今後協力できること | 8 |
| (5) その他（県の地域公共交通に対する意見） | 8 |

アンケート結果の特徴

【地域公共交通利用の課題】

- ・いずれの団体とも、公共交通機関や運行本数の減少等から、高齢者、免許返納者、高校生、中山間地域にお住まいの方々といった公共交通利用者層のための移動手段の確保や利便性の向上が課題と認識している。

【地域公共交通に求めること、行政や交通事業者に期待すること】

- ・交通弱者が安心して生活ができる環境づくり、また、学校再編にも対応し、行きたい学校に通学できるような環境づくりが求められている。
- ・現在の路線維持とともに、新たな取り組み（デマンド型交通や地域住民が主体となったボランティア輸送等）の必要性を感じている。
- ・観光客のニーズに対応した利便性向上策の取組が求められている。
- ・行政に対しては、バス停までの移動手段の確保、バス・タクシー利用助成の継続と増額、運転免許返納者に対する公共交通利用特典の付与、交通事業者への支援等が求められている。
- ・交通事業者に対しては、ルートやダイヤの改正による利便性の向上、各交通機関と行政との連携による利便性の向上等が期待されている。

【地域公共交通に対する団体として取り組んでいること・協力できること】

- ・社会福祉協議会では、9市町で福祉有償運送事業等に取り組んでいる。
- ・PTA 連合会では、公共交通の利用マナー指導や交通事業者主催行事への参加に取り組んでいる。
- ・老人クラブ連合会では、一部でイベント時の公共交通機関利用を促す案内を行っている。
- ・和歌山県観光連盟では、サイクルトレインのPRに取り組んでいる。

1. 実施概要

(1) 実施概要

実施概要は、次のとおりです。

表 実施概要

| 項目 | 概要 |
|--------|---|
| 対象 | <ul style="list-style-type: none">・和歌山県社会福祉協議会・和歌山県高等学校 PTA 連合会・和歌山県老人クラブ連合会（各市町村老人連合会（15 団体が回答））・公益社団法人和歌山県観光連盟 |
| 方法 | メールにて各団体あてにアンケートを送付し、回収。 |
| 期間 | 令和 5(2023)年 1～3 月 |
| 主な調査項目 | <ul style="list-style-type: none">・各団体が考える地域公共交通利用における課題・各団体が地域公共交通に求めるもの・各団体が行政や交通事業者に期待すること・公共交通の維持・活性化のために各団体として実施している取組や今後協力できること・その他 |

(2) 設問項目

設問項目は、次のとおりです。

和歌山県の地域公共交通に関する団体アンケート調査票

| 質問 | 回答欄 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| (1) 貴団体と回答者について | |
| ① ご所属の団体名 | |
| ② 回答者の氏名 | |
| ③ 回答者の連絡先 | 電 話： F A X： メール： |
| (2) 貴団体が考える地域公共交通利用の課題は何ですか | |
| 地域公共交通全般について | |
| ※ 特にご記載いただける事項があれば、下記①～⑥についてもご記載願います。 | |
| ① 鉄道 | |
| ② 路線バス | |
| ③ コミュニティバス | ※ 市町村が運行するバス |
| ④ デマンド型交通 | ※ 予約した複数の人が1台の車両に乗り合わせる"予約型のバス又はタクシー" |
| ⑤ タクシー | |
| ⑥ その他 () | |

| 質問 | 回答欄 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| (3) 貴団体が地域公共交通に求めることは何ですか | |
| 地域公共交通全般について | |
| ※ 特にご記載いただける事項があれば、下記①～⑥についてもご記載願います。 | |
| ① 鉄道 | |
| ② 路線バス | |
| ③ コミュニティバス | ※ 市町村が運行するバス |
| ④ デマンド型交通 | ※ 予約した複数の人が1台の車両に乗り合わせる"予約型のバス又はタクシー" |
| ⑤ タクシー | |
| ⑥ その他 () | |
| (4) 貴団体が行政や交通事業者に期待することは何ですか | |
| 行政に期待すること | |
| 交通事業者に期待すること | |

| 質問 | 回答欄 |
|---|-----|
| <p>(5) 公共交通の維持・活性化のために、貴団体として実施していただいている取組や、今後ご協力いただけることをご記入ください。</p> | |
| <p>(6) その他、和歌山県の地域公共交通に対するご意見・ご要望があれば、ご記入ください。</p> | |

※和歌山県観光連盟については、上記に加えて「観光動向について（現在の動向・今後5年間の動向予測）」について確認している。

2. 結果概要

(1) 各団体が考える地域公共交通利用の課題

| 団体 | 地域公共交通全般 | 交通機関別 |
|----------|--|--|
| 社会福祉協議会 | 市町村社会福祉協議会等の活動支援を通じて把握している課題として、特に中山間地域の公共交通機関が少なくなっている現状から、移送（送迎）サービスや通院、買い物支援等の福祉ニーズが年々増大しているように感じている。 | |
| PTA 連合会 | 他に通学方法がない高校生にとって、通学を公共交通に頼らざるを得ない。例えば、ダイヤ改正においても大きく高校生活に影響を及ぼす可能性がある。また、少子化に伴う高等学校再編整備においても「通学手段」が大きく関わってきている。 | <p>【鉄道】 高校生が通学するには、鉄道に頼らざるを得ない場合があるが、鉄道の減便等もあり大きく高校生活に影響を伴う。</p> <p>【路線バス・コミュニティバス】 高校生が通学するには、路線バスに頼らざるを得ない場合があるが、便数も少なく大きく高校生活に影響を伴う。</p> <p>【デマンド型交通】 正直、あまり浸透していない。</p> <p>【タクシー】 他に通学方法がない場合考える必要があるが、費用面が課題。</p> |
| 老人クラブ連合会 | <ul style="list-style-type: none"> 公共交通、特にバス路線の減少が深刻な問題。 和歌山県は車社会で車がなければ生活が成り立たないなかで、高齢者には免許返納が促されているが、免許を返納した人が公共交通を利用するにしても本数が少なく、バスが通らない地域もあり、日常生活の移動手段の確保が課題。 公共交通機関の減少に伴い、自家用車の必要性がさらに高まり、移動や買い物に自家用車の利用が増えれば、ますます電車やバスの利用客は減少するという悪循環が発生している。 | <p>【鉄道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運行回数の見直し。 バリアフリー化。 <p>【路線バス・コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最寄りのバス停までが遠く、高齢者が歩いていけない。 バス停をより細やかに配置することが必要。 運行回数の見直し。 鉄道との乗り継ぎ。 <p>【デマンド型交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用したいと思う人が今後増えると思うので、そのために運転士の確保が必要。 バスもしくはタクシー会社での対応が難しく、今後は進まないと思う。 <p>【タクシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転士の確保と育成が必要。 短距離移動が断られることがあり、近くのスーパーや駅に行く時に困る。 地域内に事業者がなく、なかなか急に利用できない。 タクシーの利用補助があるが、中心部から遠方に住む高齢者にとっては限度額を超えるため頻繁に利用できない。 |

| 団体 | 地域公共交通全般 | 交通機関別 |
|----------|--|---|
| 和歌山県観光連盟 | <p>利便性（二次交通を含む）の向上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行路線と運行本数の充実と情報入手 ・所要時間の短縮 ・わかりやすい乗り継ぎ ・キャッシュレス決済の充実 | <p>【鉄道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀伊田辺駅以南の利便性（運行本数、運行ダイヤ） ・時刻改正や新型車両が投入されても目的地まで所要時間が短縮されず、和歌山へ行くのが遠い印象を与える <p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的地までの運行ルートと運行ダイヤの情報入手 ・支払方法の充実（ICカード、QR決済など） <p>【タクシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地でのタクシー台数 ・スマートフォン等からの簡便な予約方法 ・キャッシュレス決済の支払方法の充実 |

(2) 各団体が地域公共交通に求めること

| 団体 | 地域公共交通全般 | 交通機関別 |
|----------|--|---|
| 社会福祉協議会 | <p>地域公共交通の整備、移動手段の確保は、高齢者や障がい者等福祉的配慮を必要とする方々の社会的孤立防止、身体機能の維持向上等に直結するものであり、公民連携のもとこのような課題への対応を検討することが重要であると考えます。</p> | (特になし) |
| PTA 連合会 | <p>少子化が進み、かつ、過疎化が進む中、居住地により、行きたい学校に通学することが困難になる場合をできるだけなくすようなセーフティネットが必要。また、居住地によって通学に著しく困難をきたすことのないよう、ダイヤ改正等についても学校、保護者等の意見を聞く場を確保していただければありがたい。</p> | <p>【鉄道・路線バス・コミュニティバス・デマンド型交通】</p> <p>特に高等学校再編整備が進むにあたり、高校生の通学における利便性を担保して欲しい。</p> |
| 老人クラブ連合会 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が地域で安心して生活ができる環境づくりが必要であり、特に地域公共交通や移動（外出）支援の充実が必要。 ・現在の路線維持とともに、デマンド型交通の導入や地域住民が主体となったボランティアドライバーによる買い物 | <p>【鉄道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化 ・駅までのアクセス手段の確保 <p>【路線バス・コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性向上 ・路線の維持 ・運行サービスの見直し |

| 団体 | 地域公共交通全般 | 交通機関別 |
|----------|---|---|
| | <p>支援の導入といった新たな取り組みが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許返納者に対する公共交通利用特典の付与。 ・利用者が少ない状況でも、交通手段を持たない高齢者等が利用できるよう運行を維持。 ・利用しやすい路線、利用しやすい料金体系により公共交通網再編及び強化。 ・医療機関への送迎を可能とした交通機関の整備。 ・一人ひとりが地域公共交通を守っていく意識を持ち、利用の機会を増やす。 | <p>【デマンド型交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停留所の場所を増やす ・予約を誰でも簡単にできるシステムづくり（スマホがなくても使える） <p>【タクシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対に必要。台数を増やして利用しやすいようにしてほしい。 ・観光のみにとらわれず、地域交通の確保にも取り組んでほしい。 |
| 和歌山県観光連盟 | <p>(1)の課題の解決と観光客ニーズ対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的地に行く便があること ・時刻表通りの運行 ・乗り継ぎのしやすさ ・運行路線・本数の増加 | <p>【鉄道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルトレインの区間拡大 ・特急南紀の運行ダイヤ上の空白時間帯の解消と団体対応のための増車（4両編成） <p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車積込 |

(3) 各団体が行政や交通事業者に期待すること

| 団体 | 行政に期待すること | 交通事業者に期待すること |
|----------|---|--|
| 社会福祉協議会 | (2)の回答と同じ | (2)の回答と同じ |
| PTA 連合会 | 公共交通以外に通学方法がない高校生もいるという事実があることを今まで同様十分に理解されたい。 | ダイヤ改正時など、十分に学校、保護者の声を聞く場面を設定して欲しい。 |
| 老人クラブ連合会 | <ul style="list-style-type: none"> ・バス停までの交通手段の確保。 ・高齢者のためのバス・タクシー利用助成の継続と増額。 ・コミュニティバスのバス停と運行回数の増加。利用無料日の設定。 ・交通事業者を支援、移動手段の拡充を促進する。 ・「交通特区」などをつくり、合法的な白タクが運用できるようなシステムの構築。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運行ルートや時間の再検討等による利便性の向上。 ・行政との協働により課題解決を図り、安心して生活を送れる公共交通ネットワークを充実する。 ・免許返納者に対する運賃割引を行う事業者があるが、知らない人もいるので積極的にPRする。 |

| 団体 | 行政に期待すること | 交通事業者に期待すること |
|----|------------------------------------|--|
| | ・公共交通、福祉交通、スクールバス等を複合的に利用できるようにする。 | ・鉄道・バス等各交通機関が相互に連携を図って、移動の利便性や回遊性の向上に取り組む。 |

(4) 公共交通の維持・活性化のために、各団体が実施している取組や今後協力できること

| 団体 | 現在の取組 | 今後協力できること |
|----------|---|--|
| 社会福祉協議会 | 市町村社協では、以下の9市町村で福祉有償運送事業等を実施。（橋本市、新宮市、紀美野町、九度山町、高野町、みなべ町、すさみ町、北山村、串本町） ※令和4年度市町村社協便覧より | 構成員である市町村社会福祉協議会や社会福祉施設等の活動支援、連絡調整、活動把握を通じ、福祉的な視点からの情報提供等を行うことが可能。 |
| PTA 連合会 | 乗車マナーの指導や地域学校による公共交通業者主催の行事への積極的参加。 | 同左 |
| 老人クラブ連合会 | 現時点でそれほど取り組みを行っている団体は少ないが、一部で老人クラブのイベント時に町営バス等の公共交通機関利用を促す案内を行っている。 | イベント時の公共交通機関の利用、会員へのアンケート協力等。 |
| 和歌山県観光連盟 | サイクルトレイン PR | — |

(5) その他（県の地域公共交通に対する意見・観光動向について）

| 団体 | 意見 |
|----------|--|
| 社会福祉協議会 | — |
| PTA 連合会 | 少子化が進み、また、地理的条件のため、地域の公共交通の利便性が低下せざるを得ない状況であるが、特に他に通学手段のない高校生の状況も考慮いただきたい。 |
| 老人クラブ連合会 | ・県内の多くの魅力的な観光資源を活用した公共交通活性化施策の展開を期待。 ・運転免許返納を促進するために地域公共交通の充実は重要だが、市町村は財政状況が厳しいと思われ、国や県による積極的な関与や財政的支援が必要。 |
| 和歌山県観光同盟 | (現在の観光動向について) ・リフレッシュプラン等旅行支援策により回復してきている（地域差がある）。昨秋以降、インバウンドも戻り始めている。 (今後5年間の動向予測について) ・コロナ禍からの観光需要の高まりや大阪関西万博、紀勢道の串本までの開通を契機に観光客数が増加すると考える。 |